

令和 8 年 10 月 16 日
九州地方整備局

八代港コンテナターミナルが 10 月 18 日に暫定供用します

令和 8 年熊本地震の影響により休止している八代港のコンテナターミナルについては、延長 100m を先行させる段階的復旧により、10 月中の暫定供用を目指していましたが、関係者の尽力により約 2 週間早い 10 月 18 日(日)にコンテナターミナルの暫定供用が可能となることとなりました。今後、震災前に就航していたコンテナ航路が寄港を再開すること等により、遠方の港湾を利用せざるを得なかった企業等が八代港を利用できるようになり、地域経済の活性化、効率的な企業活動につながる事が期待されます。

残った個所の応急復旧を 11 月中に完了させるとともに、9 月 30 日に策定された「八代港復旧設計方針」を踏まえ、一日も早い本格復旧の実現に向け取り組んでまいります。

荷役機械の試運転の様子(10 月 13 日)



コンテナと同等の重量を持つおもりを吊り上げる
ガントリークレーン



応急復旧で設置したスロープを走行するストラドルキャリア

【問合せ先】

九州地方整備局 港湾空港部 計画企画官 井上
電話: 092-418-3340(代表)、092-418-3358(直通)

※ 九州地方整備局港湾空港部では、令和8年熊本地震に係る港湾関係の
対応状況等を公式 X にて随時発信しています。



八代港外港地区 コンテナターミナル 応急復旧実施状況(10月9日撮影)



※ 発災時に蔵置されていた
コンテナの下の空洞化
調査を含め、暫定利用に
必要な作業は全て完了

